

CFPプログラムの試行制度からの 改善点の整理

はじめに

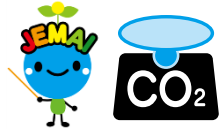
1. CFP-PCRの策定・認定
2. CFP算定・検証（公開データ含む）
3. CFP登録・公開
4. CFP認定、登録・公開にかかるコスト
5. その他



一般社団法人産業環境管理協会 (JEMAI)

LCA事業推進センター エコデザイン事業室

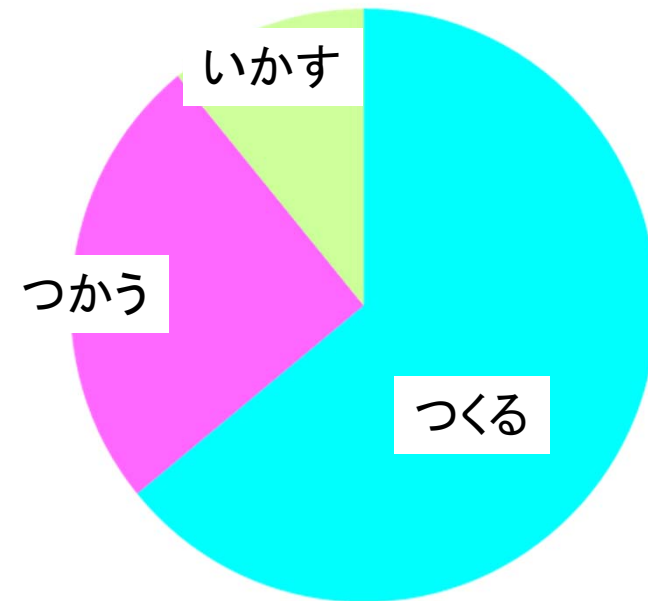
加治 知恵



CFPとは？

CFP(カーボンフットプリント)とは、 「Carbon Footprint of Products」の略称

「商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体(製品の一生)を通じて排出される温室効果ガスの総排出量をCO₂に換算した数値」を表します。





CFPコミュニケーションプログラムとは？

- ◆ 国の「カーボンフットプリント制度構築試行事業」の成果をもとに、2012年4月からJEMAIが事業化
- ◆ 国際規格であるISO/TS14067に準拠した「環境ラベル制度」



“CFPプログラム参加マーク”
数値表示や認知度向上のための
シンボルとして継承

民間移行に際し

- ・プログラム参加の有償化
- ・文書体系の構築に伴う要求事項の見直し

を行いました。



プログラムの目的と基本的な考え方

目的

- ①信頼性・透明性を確保した算定方法に基づく定量的環境情報の見える化(算定)
 - ②「見える化」された情報に基づく、提供者と利用者との間でその削減努力のための相互理解の促進(コミュニケーション)
- の2つを手段に、
- ・事業者においては、さらなる削減行動を実施し、社会的責任を果たすこと
 - ・消費者においては、自らの生活スタイルの変革を行い、これを通じて環境負荷の低減を図ることを目的とする。

考え方

- ①CFP宣言を行う事業者は、CO2排出量の継続的削減に向けて努力することが求められる。
- ②CFP宣言は、情報提供を受ける利害関係者にとってわかりやすく、かつ誤解を招きやすい表現を避けたものでなければならない。
- ③CFPプログラムの中で別途認められた場合を除き、CFPの比較を行ってはならない。

試行事業の目的達成を継承し、プログラムの市場普及による
低炭素社会の実現を目指します。



CFP認定取得のために何が必要か？

はじめに認定取得したい製品の
CFP-PCRを選択します

CFP-PCR*の選定

認定取得したい製品に該当するCFP-PCR
が無い場合は新たに作成します

1. CFP-PCRの
策定

2. CFPの
算定・検証

申請事業者が自分で製品の
CFP値を算定します。
算定した結果は**第三者の
専門家が検証**します。

* CFP-PCR:
CFPの算定をする
ルールを定めたもの

3. CFPの
登録・公開

検証に合格したCFP値は、登録申請
することにより公開し、マークを使用
することができます。



1-1. CFP-PCR策定・認定に関する改善のねらい

- ① 市場普及を優先するため、製品間比較は当面追求しない
- ② CFP-PCR策定に関する負荷を軽減する
- ③ 申請事業者が理解・算定しやすい算定ルールを作る
- ④ 手続きにかかる手間・時間を軽減する



1-2. PCR策定・認定に関する改善内容一覧

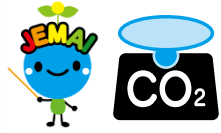
項 目		CFP制度試行事業	CFPコミュニケーションプログラム	
		内容(課題)	内 容	
PCR策定	作成	PCR原案作成はWGが前提	WGは必須でなく、 個社で作成を認める	A
		PCR-WG設置の事前登録が必要	事前登録は不要。直接、PCR原案提出が可能	A
		PCR-WG設置の業界調整が必須	業界事前調整は不要	A
		1製品分野1PCRのため、業界調整が必要	妥当な理由があれば、 重複したPCR作成を認める	A
		PCR対象範囲(製品分野の粒度)について厳しく指導	申請者が自由に対象範囲を設定できる	A
		ライフサイクル全5段階を対象	PCR毎で、段階を設定できる	B
		PCRが長く、難読	様式(項目)を合理的に見やすく改善	B
		PCR策定要求事項のみでは作成負荷大	「CFP-PCR策定のための分野別ガイド」で作成を容易化	B
		カットオフの上限(GHGで5%)は厳しすぎる	カットオフの上限を 質量 で5%にとし、手間を削減	B
		1次データ収集範囲(95%以上)が広すぎ	1次データ収集範囲を限定可能(50%)にした	B
	認定	レビューパネルの開催頻度が少ない	レビューパネルは、原則毎週実施	C
		レビューパネルへの出席が必須	レビューパネルへの出席不要	C
		申請から認定まで期間が長い	申請受理から認定まで「 15営業日 」を目標	D



1-3. PCR策定・認定フロー

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
事前登録は不要	申請書とテンプレートのダウンロード	申請書とCFP-PCR原案の記入	申請書とCFP-PCR原案の提出	CFP-PCR原案の意見公募	意見公募結果の報告	CFP-PCRレビュー	審査	審査結果の通知 ↓(修正指摘・拒否の場合もあります)	公表





2-1. CFP算定・検証に関する改善のねらい

- ①初参加事業者が参加しやすい仕組みづくり
- ②算定者のスキルアップとフォロー体制の構築
- ③二次データ(原単位)運用の柔軟な対応
- ④手続きに係る手間・時間の軽減
- ⑤普及拡大のため、スピーディ・簡易な登録公開手順の確立



2-2. CFP算定・検証に関する改善内容一覧

項 目		CFP制度試行事業	CFPコミュニケーションプログラム	
		内容(課題)	内 容	
CFP算定	算 定	初参加企業は手順がわからず、決心しにくい	入門セミナー・なんでも相談室(無料)を隔月開催	
		算定の仕方がわからない、大変	CFP算定研修・個別相談会(有料)を設置	A
		算定の人材と時間が不足	CFP算定可能な汎用LCAソフト(MILCA)を提供	A
		算定の能力と人材が不足	算定コンサル支援(有料)を提供。	A
	2次データ	共通原単位の使用は必須、参考データを提供	基本データと利用可能データを準備・公開。	A
CFP検証	共 通	エビデンスの突合による長時間の検証	算定の考え方、計算方法等を重点的に検証	B
	個品別 検証方式	対面検証が原則	対面は必須でなく、書面検証も認める	B
		検証程度に個人差が見られた	検証要員を登録、情報交換を密に行い、質の均一化	B
		検証パネルへの同席を要求	レビューパネルへの出席は不要	C
		検証パネルの開催頻度が低い	レビューパネルは、原則毎週実施、件数制限なし	C
		申請から検証終了まで期間が長い	申請受理から検証終了まで「10営業日」を目標	D
	システム 認証方式	多数検証と迅速検証への対応	システム認証方式の確立	E
		検証規模拡大への対応	外部審査機関を登録(現在5社)	E



2-3. CFP検証フロー





2-4. 2つの検証方式(個品別/システム)

個品別検証方式

1. 第三者(検証員)による検証
2. 検証の手順
 - ①検証申請書提出
 - ②検証(書面審査)
 - ③レビューパネル
3. 登録・公開
検証合格した案件は、検証合格から
3ヶ月以内に登録申請

システム認証方式

1. 自社内内部検証員による内部検証
2. 検証の手順
 - ①内部検証
 - ・
 - ・
3. 登録公開
内部検証合格案件を、登録申請
(登録申請の時期に合わせて内部検証)

<個品別検証と比較したシステム認証のメリット>

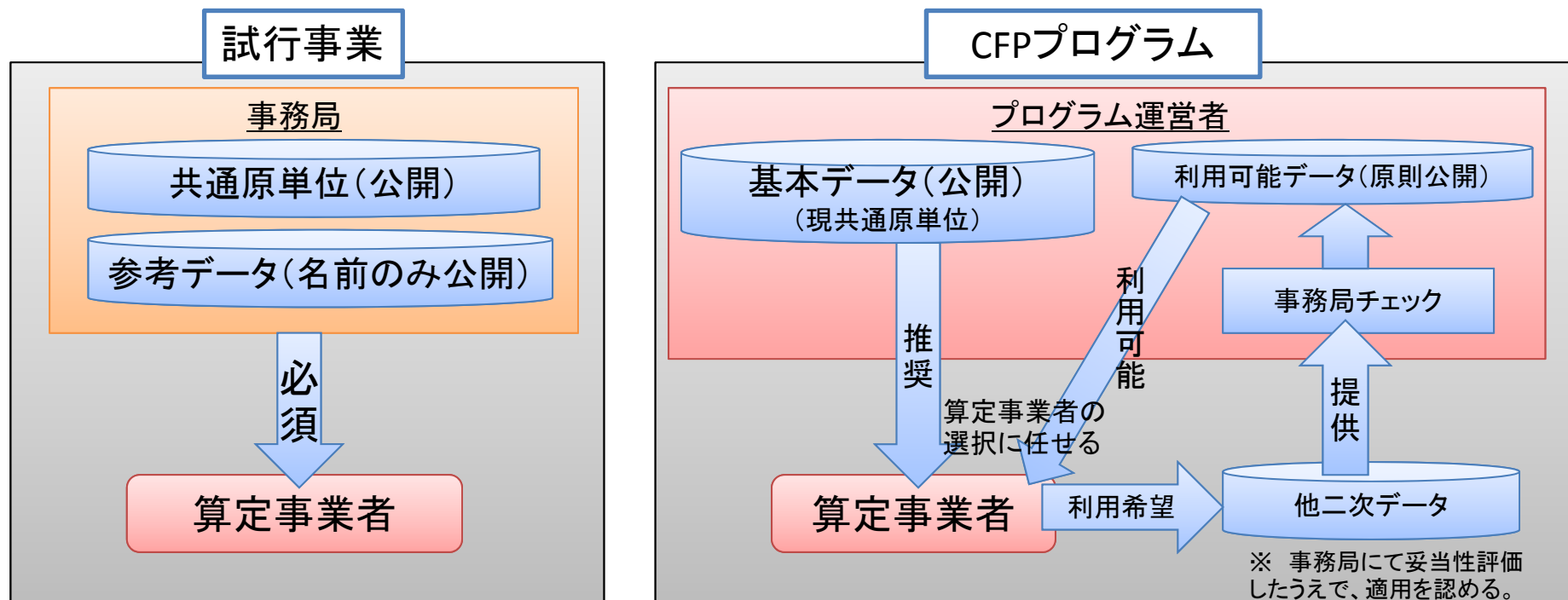
- ・1つのシステムから何製品出しても費用は変わらない。
→多製品の検証に有利(コストメリット)
- ・自社内の検証であるため、検証時期を自社都合で選択できる。
→検証時期を自由に設定出来る。
→製品の登録・公開時期に合わせてタイムリーに検証が出来る。
→短期間での検証対応が可能。

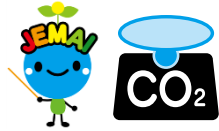


2-5. 二次データ(原単位)の運用

二次データ(基本データ、利用可能データ)の運用

- 試行事業での、**共通原単位**は、「**基本データ**」として公開・活用する。
- 「**基本データ**」以外に二次データ利用希望があった場合、「**利用可能データチェック基準**」を満足すればその使用を認める。
なお、試行事業の参考データも利用可能データとする。
事務局は、**利用可能データの一覧**を公開する。





3-1. CFP登録・公開のねらい

- ① 民間運用にともない登録・公開制度を導入し、CFPプログラム参加マークの効果的な運用を図る
- ② 算定結果を第三者が認定することによる効果を最大限に活用する
- ③ 算定結果の数値を分析・解釈することによる事業者の気づきを促す
- ④ 社会の低炭素化に貢献する、わかりやすいコミュニケーションの促進を図る



3-2. CFP登録・公開に関する内容一覧

項目	CFP制度試行事業	CFPコミュニケーションプログラム
	内容(課題)	内 容
CFP登録	登録手続きの明確化要	登録公開制度の導入
	CFP宣言の認定の外部PR手段がない	「 <u>CFP認定証</u> 」の発行(有料)
	CFP宣言方法(より解りやすい表示)の改善	様式の見直し・改善(解釈欄の追加)
		表示数値の桁数の変更(3桁→2桁)
	製品への数値表示は誤解を招くのではという懸念	数値表示方法を緩和し削減率や数字無も認める
	販売単位のための公開では対応に限界がある	様々な公開単位(1kg、1枚、1杯当たり等)を認める
	マーク使用は最終製品に限定し、中間材は不可	中間材製品にもマーク使用を認める



3-3. CFP宣言(コミュニケーションの手段)

●CFPマーク

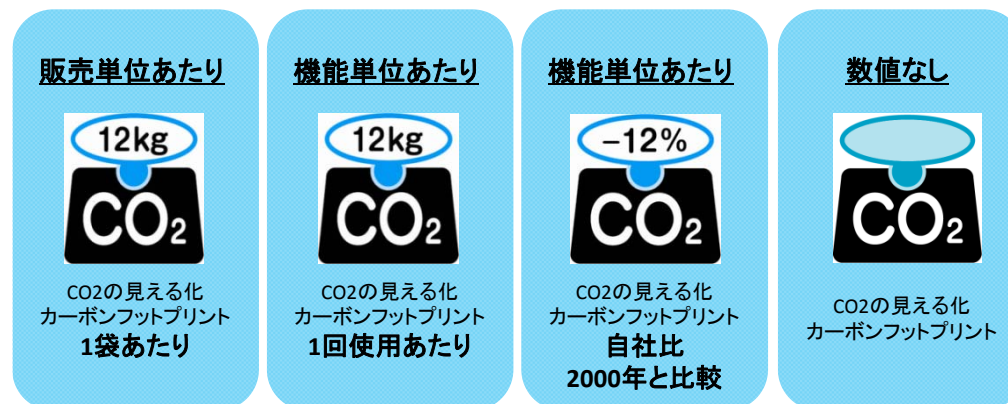
プログラムへの参加とCO2削減努力表明手段としてCFPマークを弾力的に運用



数値なしの状態のマークを、商品・包装・パンフレット・WEBサイト、POPなどに表示できます。

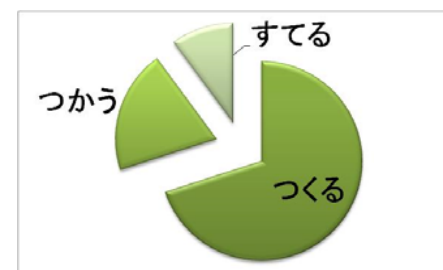
●数値表示

ライフサイクル全体を合計した販売単位の数値表示だけでなく、削減率、数値なしなどの多様な表示を可能とする



●追加情報

ライフサイクル段階毎に分けたグラフ表示や削減ポイント、削減努力対象の明示と解説など



●登録情報

“登録情報”のホームページ公開による詳細内訳



3-4. 認定証を発行します

認定証 

カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム
宣言認定製品

事業者名称	産環境株式会社
製品名	〇〇〇〇
公開番号	CR-YY01-12001
CFP-PCR番号	PA-YY-01
認定日	2012年△月△△日

上記の製品が、カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム
宣言認定製品であることを証する。

社団法人 産業環境管理協会
Japan Environmental Management Association for Industry

会長 富澤 龍一
Chairman Ryuichi Tomizawa 

ご希望に応じて認定証を発行します。
(発行事務手数料:1,050円)

WEBサイトでの告知、製品カタログでの紹介、営業ツール等として、
ご活用ください。

産業環境管理協会の
「お墨付き」で
取組の信用度アップ！

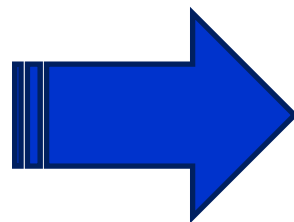




3-5. 登録情報の様式がより進化しました

詳細情報 <最終財> (Webサイト公開資料)	
1. 製品情報	
1.1 検証番号	CV-BF02-002
1.2 製品名称	宮崎県産 促成グリーンピーマン(特別栽培)
1.3 製品型式	—
1.4 製品の主要仕様・諸元	JAはまゆう管内で栽培した宮崎県産グリーンピーマン(特別栽培)を小袋包装したもの。
1.5 CFP算定単位	単位重量当たり(100グラム当たり)
2. 事業者情報	
2.1 事業者名:	みやざきブランド推進本部(宮崎県、JA宮崎経済連)、JAはまゆう
3. CFP算定結果および表示方法	
3.1 CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	0.462kg 単位重量あたりCO2排出量
内訳(ライフサイクル段階別)	
3.2 原材料調達段階	2.47E-02 kg-CO ₂ e
生産段階	3.88E-01 kg-CO ₂ e
流通段階	3.02E-02 kg-CO ₂ e
使用・維持管理段階	1.85E-02 kg-CO ₂ e
廃棄・リサイクル段階	7.50E-04 kg-CO ₂ e
CFPマークへの記載方法	
マーク本体 (必須情報部) の記載内容	<記載内容> 100gあたり 0.5kg <表示方法の種別> 単位重量あたりCO2排出量
3.3 追加情報表示部 の記載内容	①栽培データ: 2009年8月~2010年6月。 ②(つくる)、(はこぶ)、(つかう・ずてる)の割合を円グラフ表示。 ③「商品種別算定基準」(野菜および果実)に基づく販売単位の重量について、商品種別算定基準に基づき、この商品のカーボンフットプリントの算定のため、商品の販売単位(1袋)における商品本体の重量を130gと設定し、販売単位あたりの算定を行い、さらに、これを割り戻して、100gあたりのカーボンフットプリントとして、0.5kgと算定・表示した。なお、この130gは、本商品包装段階の下限の重量となっている。 ④CO2排出量には「調理」及び「冷蔵保存」による排出量を含む。
3.4 備考	特別栽培とは、地域栽培基準と比較して、節減対象農薬(使用回数)、化学肥料(窒素成分)ともに5割以上削減したものである。

コミュニケーション
を重視し
3桁→2桁表示に



事業者・消費者の
削減行動を促進する
ため「解釈」欄を
追加
(ISO/TS14067準拠)

カーボンフットプリント 登録情報	
1. 製品情報	
1.1 登録番号	CR-BF04-13001
1.2 製品名称(日本語)	宮崎県産 トップバリュグリーンアイ ピーマン
1.3 製品名称(英語)	TOPVALU GreenEye Green Pepper from Miyazaki
1.4 製品の主要仕様・諸元	生産者を限定し、栽培した宮崎県産トップバリュグリーンアイ ピーマン(促成栽培)を小袋包装したもの。
1.5 CFP算定単位	単位重量当たり(100グラム当たり)
1.6 公開日	2013年1月15日
2. 事業者情報	
2.1 事業者名(日本語)	イオン株式会社
2.2 事業者名(英語)	Aeon Co., Ltd.
2.3 電話番号	043-212-6037
3. CFP算定結果	
3.1 CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	0.53 kg-CO ₂ (複数処理により、左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります。)
内訳(ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)	
3.2 原材料調達段階	0.012 kg-CO ₂ e (有効桁数2桁)
生産段階	0.37 kg-CO ₂ e (有効桁数2桁)
流通段階	0.029 kg-CO ₂ e (有効桁数2桁)
使用・維持管理段階	0.11 kg-CO ₂ e (有効桁数2桁)
廃棄・リサイクル段階	0.0046 kg-CO ₂ e (有効桁数2桁)
数値表示、追加情報の内容	
数値表示	<記載内容> 0.6kg <数値表示の単位> 100gあたり(有効桁数1桁切り上げ)
3.3 追加情報の記載内容	①栽培データ: 2011年8月~2012年6月。 ②販売単位(1袋)当たりのCO2排出量は、0.53kgである。 ③CO2排出量には「調理」及び「冷蔵保存」による排出量を含む。
3.4 備考	宮崎県産トップバリュグリーンアイ ピーマンは、農業や化学肥料の使用を抑えて、環境に配慮し栽培した農産物です。 データ収集及び算定はみやざきブランド推進本部(宮崎県、JA宮崎経済連)、JAはまゆうに協力いただきました。
4. CFP算定結果の解釈	
4.1 CFP算定結果の解釈	昨年度のCFPと比較して、「原材料調達段階」と「生産段階」で、CO2排出量が若干減少し、それ以外は、ほぼ、昨年と同様の結果となった。全体では、上記2段階での減少率も低かったため昨年とほぼ同程度のCO2排出量となった。「原材料調達段階」と、「生産段階」のCO2減の主な要因は以下のとおりである。 ●昨年は生育期間中の気温が低く、生産量が少なかったが、今年は平年並みの天候で推移し、生産量が回復したため、生産量を算定基礎とし、単位あたりのCO2排出量を算出する「原材料調達段階」と、「生産段階」でピーマン100gあたりのCO2排出量が減少した。
5. 算定条件	
5.1 認定CFP-PCR名称	【改訂版】野菜および果実
5.2 認定CFP-PCR番号	PA-BF-04
5.3 利用した二次データの考え方	カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム、基本データベースver. 1.01を参照して利用しつつ、利用可能データライブラリで補完した。
6. 検証情報	
6.1 検証方式	システム認証方式
6.2 システム認証番号	CS-11001
6.3 検証番号	—
6.4 検証有効期限	2015年12月11日
7. 備考	
—	

製品写真を
追加





4. CFP認定、CFP登録・公開に係るコスト負担

申請 都度	CFP-PCR認定	115,500円/件	軽微な改訂等で事前レビューが不要と判断した場合は31,500円/件	最初は小手調べ、有効性を理解されたら賢く対応
	CFP検証料	105,000円/製品	ただし、同一製品群で複数製品を同時検証の場合は 5製品までは52,500円/製品 6製品以上42,000円/3製品	システム認証に関する費用は、各認証機関と個別にご相談ください。

年間	登録・公開料	企業単位でのCFP製品売上額	年間登録・公開料	
			区分	単価
製品原価への影響を極力低く抑え、経済的な環境行動を！		0円(販売を目的としないもの)	一律	10,500
		1,000万円未満	一律	21,000
		1,000万円以上5,000万円未満	一律	31,500
		5,000万円以上1億円未満	一律	63,000
		1億円以上5億円未満	一律	136,500
		5億円以上10億円未満	一律	273,000
		10億円以上100億円未満	中小企業	399,000
			その他企業	798,000
		100億円以上	中小企業	525,000
			その他企業	1,050,000

中小企業向けには導入促進キャンペーン中です。ご確認を！



5-1. CFPWEBサイトについて

The screenshot shows the homepage of the CFP Japan website. The header includes the JEMA CO2 logo, the title 'CFPプログラム', and navigation links for HOME, CFPとは, CFPプログラムについて, CFPプログラムへの参加, CFP対象製品, and CFP関連規程. The main content area features a large banner for 'ecomoyo vol.2 2013 Spring Issue' and a sidebar with links to '認定CFP-PCR一覧' and 'CFP宣言認定製品一覧'. Below the banner are sections for 'CFPプログラム概要と参加方法' and '製品をお探しの方はこちら CFP検証番号検索'. At the bottom, there are social media links for Facebook and Twitter, and a 'What's new' section with a list of recent updates.

CFPプログラム
カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム

HOME CFPとは CFPプログラムについて CFPプログラムへの参加 CFP対象製品 CFP関連規程

マーク付与までの流れ
CFP-PCR認定について
CFP-PCR原案への意見公募
登録・公開について
認定CFP-PCR一覧
CFP検証について
システム認証
CFP算定用二次データ
登録・公開について
CFP宣言認定製品一覧

ecomoyo vol.2
2013 Spring Issue

Carbon Footprint Communication Program

CFPプログラム概要と参加方法

製品をお探しの方はこちら
CFP検証番号検索

CFPとは、原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまで排出される温室効果ガスの排出量をCO₂に換算して、「見える化」(表示)する仕組みです。

CFP検証に合格し、CFP宣言認定製品として認められた製品を検索することができます。

facebook いいね!
カーボンフットプリントコミュニティ

twitter フォロワー
CFP関連の話題をゆる〜くツイートします

> 研修会・イベント情報
> メールマガジン
> 各種資料ダウンロード
> 海外の動向
> 初心者のためのCFP

What's new

13/08/18 【グリーン購入ネットワーク】第15回グリーン購入大賞募集中です★応募締切:7月12日(金)
13/08/17 【CFP宣言認定製品一覧】を更新しました

【URL】
<http://www.cfp-japan.jp/>

『CFP関連規定』
現在のルール(要求事項等)はこちらから

『認定PCR一覧』
PCR一覧はこちらから

『CFP宣言認定製品一覧』
公開済みの製品一覧はこちらから

『What's new』
最新トピックスはこちらから



5-2. その他の広報・プロモーションツール

カーボンフットプリント
@cfp_japan

カーボンフットプリント関連の話題をゆる〜くツイートします。ぜひ、@で情報をください。中の人、産業環境管理協会の有志ですが、組織の公式見解を述べるものではありません。あくまで、ゆる〜く。
cfp-japan.jp

450 ツイート 39 フォロー 85 フォロワー

ツイート

カーボンフットプリント @cfp_japan
【CFPすごろく 英国版】先日、英国マンチェスターからJamesさんからページにご紹介いただきました。なんと、CFPすごろくがイギリスでも作られました!! St Peter RC High... fb.me/1P1QrYzp
開く

カーボンフットプリント @cfp_japan
◆環境関連情報◆期間限定配信「ノル：運び屋たち」◆... fb.me/1QfGcmGnC
開く

カーボンフットプリント @cfp_japan
前田さん、素敵なコメントありがとうございます。... fb.me/1QcBpPEdg
開く

カーボンフットプリント @cfp_japan
◆委員会報告◆エコリーフ& CFP合同・アドバイザリーボード◆
昨日はアドバイザリーボードを開催していました。学識者・消費者・事業者、様々な立場の方々からプログラムに対してのご助言をいただき大変です。... fb.me/2cfEPiHdT
開く

カーボンフットプリント @cfp_japan
◆LCA関連情報◆カーボンフットプリント原

【Twitter】
カーボンフットプリント
https://twitter.com/cfpjapan

【Facebook】
カーボンフットプリントコミュニティ
https://www.facebook.com/CFPCOMMUNITY

カーボンフットプリントコミュニティ
Carbon footprint community

いいね! 360人 · 話している人111人

基本データ 写真 いいね! イベント Twitter

46人 友達

ユーザーからの最近の投稿

【CFPすごろく 英国版】先日、英国マンチェスターからJamesさんからCFPページにご紹介いただきました。なんと、CFPすごろくがイギリスでも作られています!! St Peter RC High Schoolの生徒達と作ったものなそうです。(オンラインでも遊べます!!)英国というとロンドンのイメージが強いかもしれませんが、産業革命の中心地として有名なマンチェスターは、ロンドンに続く第2の都市として評価されています。島根県産業振興局からのお知らせです。... fb.me/2cfEPiHdT

配信日時: 2013/06/12 10:43:57

件名: 【カーボンフットプリント・メールマガジン】 2013年6月12日号

【カーボンフットプリント・メールマガジン】 2013年6月12日号
http://www.cfp-japan.jp/

カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム
局です。
プログラム動向についてお伝えするメールマガジンを

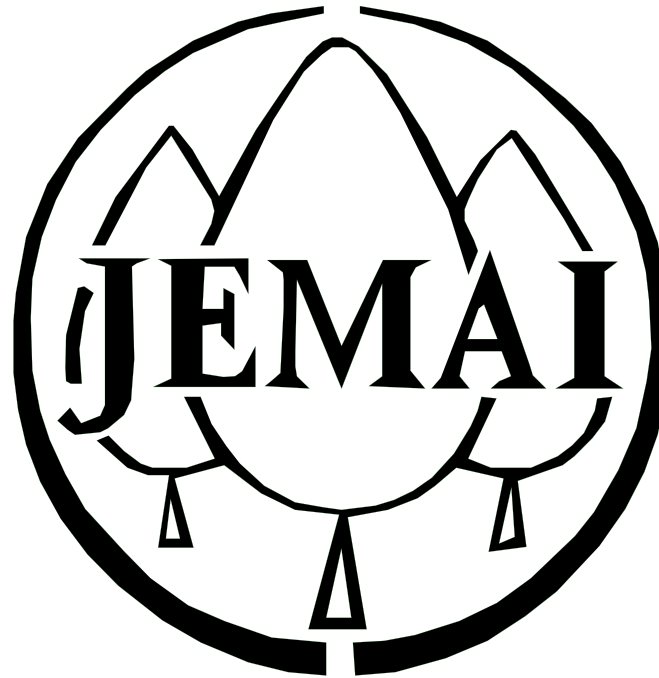
共同出展企画
るプロジェクト出展募集中! ***NEW***

会申込受付中です
定研修会
ル入門セミナー

諸時には、PORの有効期限にご注意ください

サポート検定 申込受付

【メルマガ】
カーボンフットプリント・
メールマガジン



ご清聴、ありがとうございました。

一般社団法人産業環境管理協会

製品環境部門 LCA事業推進センター

カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム事務局

担当: 石塚、加治、星野、伊藤

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル

TEL: 03-5209-7712 FAX: 03-5209-7716

E-Mail: cfp@jemai.or.jp URL: <http://www.cfp-japan.jp>